

イベントのお知らせ

「関山街道フォーラム協議会」主催事業

ミニ講演会

地域の宝を生かす！

「仙山線の魅力と文化遺産」

「関山街道フォーラム協議会」では、自然・歴史・文化などの豊かな地域の魅力を掘り起こし、関山街道沿線で活動をしている団体や企業が連携して、土の道(街道)、鉄の道(仙山線)の各部会等を組織し、地域活性化を目指し活動しています。情報の共有や相互交流により絆を深め、より多くの方々に知っていただくことを願っています。

この度、その一環として「ミニ講演会」と「交流会」を開催いたします。
ぜひ興味のある方はご参加ください！

- 日時：平成26年5月24日(土) 14:00～16:00 (開場13:30)
- 会場：広瀬市民センター セミナー室
- 定員：80名程度【先着】
- 参加費：第1部、第2部は無料(交流会は3,500円程度を予定)
- 申し込み方法：講演会は申し込み不要、直接会場へ
※交流会の申し込みは、5月16日(金)まで 広瀬市民センターへ
住所・氏名・電話番号を記入の上、メール、FAX等にてお申し込みください。

第1部 講演「地域の宝を生かす～仙山線の魅力と文化遺産～」

講師：東北福祉大学教授 星山 幸男氏

【講師プロフィール】

東京生まれ
2001年～ 東北福祉大学社会学部教授
2014年～ 宮城県社会教育委員
現在は東北福祉大学・鉄道交流ステーション運営委員長を務める
著書には「自然との共生とまちづくり」等

第2部 活動事例発表 西部地区が「輝く」プロジェクト委員会 ・大倉四季探検隊

総会 16:30～17:30【会員限定】

交流会 18:00～ 関山街道沿線で活動している団体の皆さんと、街道談義をします！



船ヶ原のトレスル橋



復元された作野駄馬車台



青白山トンネル

【お申し込み・問合せ先】 関山街道フォーラム協議会 事務局 広瀬市民センター(担当:三浦)
〒989-3125 仙台市青葉区下愛子字観音堂5

TEL: 392-8405 FAX: 392-8410

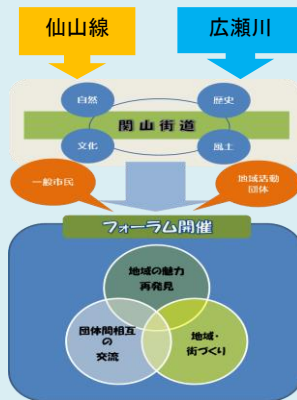
仙台市青葉区まちづくり活動助成事業

◇関山街道フォーラム協議会とは◇

関山街道フォーラム協議会は、関山街道沿線で活動している市民活動団体・企業・行政等が、地域の自然、歴史、文化、風土等の豊かな自然を掘り起こし、活用しながら地域活性化を目指している団体です。

平成23年12月に「関山街道フォーラム実行委員会」が発足、平成24年5月に「関山街道フォーラム」を開催しました。その後「土の道部会」を立ち上げマップ作成や探訪会等の事業、また関山街道と並行して走る仙山線に焦点をあてた事業開催のため「鉄の道部会」を立ち上げ取り組んでいます。

平成24年12月8日に「関山街道フォーラム協議会」として名称を改め、地域の魅力を発信していくことを目標に活動をしています。



オブザーバー

- ・宮城県震災復興・企画部 震災復興政策課
- ・仙台河川国道事務所 仙台西国道維持出張所
- ・山形県村山総合支庁 総務企画部 地域振興課
- ・仙台市河川課広瀬川創生室

■参加団体■

作並温泉旅館組合
みやぎ建設総合センター
八幡地区まちづくり協議会
広瀬川市民会議
仙台西国 VSP 連絡協議会
定義観光協会
ニッカウスキー

(株)仙台工場

大倉ふるさとセンター
宮城地区郷土史探訪会
愛子の郷交流会
ひろせの底力
みやぎ西探訪会
里山を歩く会
仙台・作並回文の里づくり

実行委員会

土木学会東北支部
みやぎ街道交流会
みちのく鉄道応援団
仙台市宮城総合支所
仙台市広瀬市民センター

よろしかったら、スタッフとして一緒に活動してみませんか！

●団体会費 5,000円 ●個人会費 2,000円 ●賛助会員一口 1,000円

発行：関山街道フォーラム協議会

■事務局 みやぎ街道交流会内

TEL:022-722-3380 FAX:022-722-3381

E-mail:miyagi-kaidou@auone.jp

■お問い合わせは・・・仙台市広瀬市民センターまで

TEL:022-392-8405 FAX:022-392-8410

HP: http://sekiyamaforum.web.fc2.com/

ニュースレター vol. 4



リレー巻頭言

地域づくりを支える

市民の学び

東北福祉大学総合福祉学部教授
TFU 鉄道交流ステーション運営委員長
関山街道フォーラム協議会 顧問



星山 幸男

今日、男女共同参画など、参画という言葉がよく使われます。市民と行政が計画段階から協働して、一つのものを作り上げていこうという考え方です。これは何でも行政任せにせず、市民の力で進めていこうとするもので、市民の力を借りた安上がりな行政ではありません。

まちづくりでも市民の参画、市民の知恵を生かした計画と実践が重視されています。市民の参画を進めていくには、様々な情報や知識が必要となります。市民同士「つながり」もカギとなります。地域の人々が共に学び、アイデアを出し合い、楽しみながら協力していく活動こそが今求められていると思います。

地域にはいろいろな考え方の人がいます。そう簡単にまとまるものではないかもしれませんが。しかし「ああだ、こうだ」といいながら交流を深めていくことが大切だと思っています。そしてこうした取り組みの中に本当の学び・気付きがあると確信しています。関山街道フォーラムの取り組みはそんな学びに溢れています。多くの地域住民を巻き込みながらみんなで夢を語り合い、それを少しずつ実現させるために力を合わせて地域づくりを進めていけたらと願っています。

仙台市青葉区まちづくり活動助成事業

申し込み受付中

最上古街道を歩く

～お姫様街道～
青葉山から郷六へ

6月1日(日) 10:00～14:00

集合：東北大学植物園 本館前
参加費 254円(保険・入園料)

くわしくは広瀬市民センターまで

仙山線沿線の仲間たち 「たかせ元気会」交流始まる

昨年度の「仙山線の踏切調査」を通じて交流が生まれた紅花の里、高瀬。この地を活性化しようと結成している「たかせ元気会」から、イベントのお知らせです。

〔紅花間引き作業〕
6月7日(土)

9:30～14:30

高瀬紅花ふれあいセンターにて

■お問い合わせは
広瀬市民センター 佐藤館長まで



2-4 月期 行事実施報告

「関山隧道と嶺渡り」街道探訪会

土の道部会

みどりの日の4月29日。今年もやってきました「関山隧道と嶺渡り」探訪会！ 参加者約35名の一行が、県境を越えての古道7.2キロを残雪、藪を踏みしめ、かき分けながら先人の苦勞に思いを馳せて探訪しました。さらにさらに、下山後の温泉入浴がまた人気のひみつです♪



■参加者の声■

昔のことに思いをはせ、何かロマンを感じるこの企画。新緑の美しい大好きなこの季節にはじめて参加させていただきました。

関山の残雪、花ワサビの群生、ぶなの新緑そして古道の両脇に咲いているイワウチワの美しさ。こんなに大きく、きれいなイワウチワははじめて。先発隊や天童の皆さんが、ハシゴや古道の整備をして下さったおかげで、今年が一番歩きやすかったとか。感謝、感謝です。岩松旅館の由緒ある温泉で汗を流し、この地域の自然や奥深さを感じさせられた一日となりました。

(60代女性 青葉区在住)

鉄道遺産プロジェクト

～仙山線の魅力再発見～

2014.2.2 せんだいメディアテークにて開催

「どれだけの方が仙山線に興味を持ってくれるだろう」。その心配は、会場を埋め尽くした来場者200名の熱気が吹き飛ばしました。

第1部「仙山線、思い出から未来へ」と題した基調講演、第2部パネルディスカッションを通じて、仙山線が交流電化発祥の地であることの歴史、観光路線、教育資源としての可能性を秘めていることなど、足元の宝を改めて再発見しつつ、多くの方々と共有する素晴らしい機会になりました。

オープニングは混声合唱団「音里遊」の皆さんによる「仙山線唱歌」で、出発進行～！



第1部基調講演をしてくださったJR福島駅長 狩野安則氏は作並に深い縁をお持ちの方でした。



第2部パネルディスカッション：左から後藤光亀コーディネーター 星山幸男氏 下平裕之氏 佐藤茂氏 新聞孝夫氏 宮原育子氏のパネリストの皆さん、

「関山街道さんぽマップ」できました！土の道部会



ながらくお待ちしました！関山街道を5ブロックに分け製作したさんぽマップは、2万5千分の1縮尺図を使用しているので、地図を読みながら容易に史跡巡りができるというスグレモノ。関山を徒歩で越えてみたい方にも嬉しい。5枚1セットで800円です。

協賛金

まだまだ受付中！
1口2,000円。もれなく「さんぽマップ」をセットで進呈します！お得ですよ！

土木学会「選奨土木遺産」に申請しました！



4回にわたる各地でのフォーラム開催、仙山線踏切ものがたり冊子取りまとめや、鉄道遺産プロジェクトでの活動を受け、仙山線の歴史的資産（トレスル橋3橋／仙山隧道・同信号所／転車台（作並、山寺駅）／作並機関区／奥新川直流変電所／交流電化発祥地 記念碑）を平成26年3月25日に土木学会の選奨土木遺産として公募推薦をいたしました。

最後は、加藤鉄の道部会長等の頑張りでご提出期限に何とか間に合わせる事ができました。交流電化試験電車が走って60周年の記念すべき年に認定か!? みなさん期待しましょう。

※左スライド：後藤光亀氏提供

「作並駅転車台」発掘終了！鉄の道部会



かつて仙山線を蒸気機関車が走っていた時代になくはならなかった「転車台」。交流電化全線開通後に不要となって、土砂で埋められ、その姿を見ることはできませんでした。しかし・・・その姿が再び現れる！ このたび、3月24日～31日に復元工事が入りしました。その様子を写真でご覧いただきましょう。



右下：「鉄道遺産プロジェクト」狩野安則氏基調講演時のスライドから。（写真提供：鉄道交流ステーション）

市民の力で作並駅転車台の発掘を！との呼びかけに、多くの方のご支援をいただいております。その名も「鉄道遺産プロジェクト」。作並駅を通過する際、ぜひ車窓からご覧ください。もし興味がわきましたら、ぜひ協賛金にもご協力ください！

